ジェニイの肖像（1947）

PORTRAIT OF JENNIE

メディア 映画
ジャンル ロマンス　ファンタジー
製作国 アメリカ
色彩 B&W
時間 86分
初公開日 1951/07/03
公開情報 東宝

【解説】

貧乏画家のアダムス（コットン）はセントラルパークで不思議な美しい少女と出会う。娘の名はジェニイ（ジョーンズ）。彼女を描いた素描は画商の評判もよく、アダムスにもようやく芽が出たようだった。そして、再会した彼女の肖像画を描く約束をした彼だが、作成途中で彼女は姿を消し、そのまま完成させた絵は画壇の絶賛を浴びる。失踪した彼女を捜して、彼は彼女がいたというニュー・イングランドの修道院を訪れる。が、とうの昔に、その地帯を襲った津波に呑まれ、少女は死んでいるーーと言われる。面影を求めて現場付近の海にボートで漕ぎ出すアダムスを急な嵐が襲い、その中でジェニイのボートの近づくのを見た彼は、懸命に彼女を助け上げようとするが、共に波にさらわれて意識を失う。そして目覚めた時、誰もがジェニイの存在自体を否定するのだった。彼女はアダムスだけの見た幻なのか。大プロデューサー、セルズニックが妻ジョーンズのために製作した意欲的な大作ロマン。ラスト、映し出される肖像画のみがカラーだったり、津波シーンをワイドで上映したりと、実験精神に溢れており、監督は重厚なヨーロッパ的ロマンを得意としたディターレだが、恐らくは他のセルズニック作品同様、これらは製作者自身のビジョンの具現化だろう。ジョーンズの神秘的美しさは他に類を見ない、ハリウッド幻想譚の極致。

【クレジット】

監督	ウィリアム・ディターレ	William Dieterle
製作	デヴィッド・O・セルズニック	David O. Selznick
原作	ロバート・ネイサン	Robert Nathan
脚本	ポール・オズボーン	Paul Osborn
	ピーター・バーネイズ	Peter Berneis
	レオナルド・ベルコヴィッチ	Leonardo Bercovici
撮影	ジョセフ・オーガスト	Joseph August
音楽監督	ディミトリ・ティオムキン	Dimitri Tiomkin
作曲	ディミトリ・ティオムキン	Dimitri Tiomkin
出演	ジョセフ・コットン	Joseph Cotten
	ジェニファー・ジョーンズ	Jennifer Jones
	リリアン・ギッシュ	Lillian Gish
	エセル・バリモア	Ethel Barrymore
	セシル・ケラウェイ	Cecil Kellaway
	ヘンリー・ハル	Henry Hull
	デヴィッド・ウェイン	David Wayne
	アン・フランシス	Anne Francis

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.